

# 事業報告書

2020-22

一般社団法人 Solidaridad Japan



**Solidaridad**

## ソリダリダード・ジャパンについて

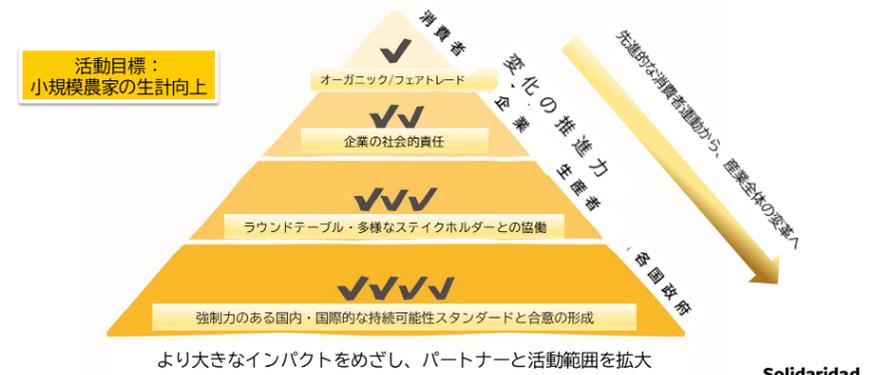
ソリダリダードは持続可能な農産品サプライチェーンの構築を通じて、社会変革の推進に取り組んでいます。具体的な活動においては、サプライチェーンの各層に対してそれぞれアプローチしていく戦略をとっており、①小規模農家や労働者の経済的利益、②自然環境とのバランスが保てる農業、③社会的弱者の包摂、という3つの原則に沿って事業展開しています。

ソリダリダード・ジャパンはソリダリダードの一員として、日本の消費者および企業に対してサステナビリティに関する情報を提供し、エシカル消費やサステナブル調達を促し、国際的な連帯を呼びかけ、SDGsの達成に貢献する取り組みを推進します。

### ビジョン:「消費者の力」を呼び覚まします

発展途上国の小規模農漁民、工場労働者、鉱山労働者の生活向上は、私たちにとって遠い話題に見えます。しかし、実は、原料生産→加工→製造→流通→店頭の棚につながる「サプライチェーン」を通じて、私たちとも間接的につながっているのです。ですからこのサプライチェーンを逆にたどれば、日本の消費者の力を使って、途上国の農民の生活向上を支援することも可能なのです。私たちはサプライチェーンに関する日本の消費者の問題意識と知識向上を促進します。

### Solidaridadのアプローチの変遷



### ミッション:企業のSDGS取り組みを支援します

日本には、「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし)という経営哲学があります。これを現代的に活用することがCSR(企業の社会的責任)戦略やSDGs(持続可能な開発目標)達成戦略に結びつくのです。私たちは、50年にわたる開発NGOとしての経験に基づいて、企業のCSR戦略作りをお手伝いします。また一企業単独の取り組みが困難な場合には、市民社会(NGO、財団、協会など)との連携促進、ソリダリダードの世界に広がるネットワークのご紹介を通じて日本企業の途上国における「世間よし」活動推進を支援していきます。

**Solidaridad**

## 2020-21年の活動

### ● ウェビナーシリーズ 持続可能な国際商品サプライチェーン:変化は一人じゃ起こせない~ パートナーシップづくりの挑戦

一般社団法人持続可能なサプライチェーン研究所との共催、オンライン

回	月日	テーマ	講師
1	9月3日	持続可能なパーム油の生産と消費:RSPO, MSPO, ISO	テオ・チェンハイ(初代 RSPO 事務総長、ソリダリダードアジア顧問)
2	9月14日	豊かなコミュニティ構築と NGO の変貌	イエロン・ダグラス(ソリダリダードネットワーク エグゼクティブダイレクター) シャタドル・チャットパダヤイ (ソリダリダードアジア マネージングダイレクター)
3	9月29日	アジアの持続可能性にむけた NGO、政府、企業の効果的なパートナーシップの構築 パーム油(2)	ニコ・ローツェン (ソリダリダードネットワーク設立者・名誉代表) イブ・デリマ (インドネシア農業省 担当官) ロシダ・ラジアン (マレーシアパーム油公社(MPOB)製品開発・アドバイザーサービス部門ディレクター)
4	10月29日	インドの CSR 法と持続可能なビジネスモデル	岡田 仁孝 (東京国際大学国際戦略研究所所長) 尾久 孝一 (JICA インド事務所次長) ニティン ラオウ (ソリダリダード・アジア 企画・評価・学習担当)
5	11月26日	持続可能なコットンの生産と貿易	アニタ・チェスター(ラウデス財団 材料部 部長) 下田屋毅(一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン代表理事)
6	1月28日	小規模農家による持続可能な紅茶生産を考える	アリジット・ラーハ (インド茶協会 事務局長) クリシャン・カーチャル(ソリダリダード・アジア TRINITEA 担当) 草野結子 (キリンホールディングス CSV 戦略部シニアマネージャー)
7	2月28日	アグリビジネス・サプライチェーンへのインパクト投資	アヤン・バナジー ソリダリダード・アジア インパクト投資担当 地域主任 功能聡子 ARUN 合同会社代表/NPO 法人 ARUN Seed 代表理事 岡本真理子 オイコクレジット・ジャパン代表

## 2021年の活動

### 連帯経済勉強会

ソリダリダード・ジャパン主催、オンライン

回	月日	テーマ	ゲストスピーカー
1	4月24日	「社会的連帯経済」の歴史・理論・戦略	ピーター・ウツティング(ニカラグア社会的経済センター・国際コーディネーター／国連社会経済研究所・上席研究員)
2	5月22日	フェアトレード	渡辺龍也(東京経済大学教授・日本フェアトレード・フォーラム顧問)
3	6月26日	連帯経済の展開と限界	古沢広祐((NPO)環境・持続社会研究センター / 國學院大学客員教授)
4	7月24日	ラテンアメリカの連帯経済	幡谷則子(上智大学教授)
5	8月28日	社会連帯経済における「協同組合」の役割	池上甲一(近畿大学名誉教授)
6	9月25日	経済モデルの再構築 地域共同体とソーシャルビジネスの役割	池本幸生(東京大学教授)
7	10月23日	社会的連帯経済の政策・制度	上村雄彦(横浜市立大学教授)

**Solidaridad**

## 2021-22年の活動

### ● 日本サステナブル・コットン・イニチアチブ(*Japan Sustainable Cotton Initiative: JSCI*) 設立イベント

2021年5月27日、オンライン

### ● サステナブル・コットン勉強会

JSCIとの共催、オンライン

回	月日	テーマ	講師
1	10月14日	サステナブル・コットンの見取り図	稲垣貢哉(一般社団法人 M.S.I.理事) 吉田秀美(一般社団法人持続可能なサプライチェーン研究所代表理事)
2	11月18日	コットンのサプライチェーンにおける人権課題	佐藤暁子(弁護士、認定 NPO 法人ヒューマンライツ・ナウ事務局次長/ことのは総合法律事務所)
3	12月16日	フェアトレード認証の最新市場動向と小規模農家のコットン生産	潮崎真惟子(認定 NPO 法人フェアトレード・ラベル・ジャパン事務局長)
4	1月20日	生産地の現状~インドでの取り組み事例	プラシャント・パストーレ (ソリダリダード・アジア水と持続可能な農業マネージャー) 成田由香子 (認定 NPO 法人 ACE 事務局次長・子ども・若者支援事業チーフ) 及川有希子(同ソーシャルビジネス推進事業チーフ)
5	2月17日	欧米発のサステナブル・コットン事情	福柁浩 (一般財団法人日本綿業振興会常務理事 ) Hannah Cunneen (Forum for the Future, Principal Change Designer & Cotton 2040 Programme) Neil Walker(同, Change Designer & Cotton 2040 Project Manager)
6	3月10日	国際認証(サステナブル・ラベル)とサステナブル消費)	山口真奈美(一般社団法人 日本サステナブル・ラベル協会 代表理事) 松本フィオナ(GOTS 日本代表)

## 2022年の活動

### ● 連帯経済勉強会

国際開発学会社会的連帯経済研究部会との共催、オンライン

回	月日	テーマ	講師
1	4月23日	連帯経済は地方経済活性化を後押しできるのか	廣田裕之(スペイン社会的通貨研究所共同創設者)
2	5月28日	地域通貨によるコミュニティづくり	柳澤大輔(面白法人カヤック 代表取締役 CEO)
3	6月25日	信用金庫と地域経済	新田信行(開智国際大学客員教授・一般社団法人ちいきん会代表理事)
4	7月23日	ワーカーズコープと活力ある地域社会の実現	相良孝雄(日本労働者協同組合「ワーカーズコープ」連合会理事)
5	8月27日	農福連携による地域の活性化	奥田和也(奥能登元気プロジェクト 代表取締役)
6	9月24日	「よそ者」と社会的企業	木全洋一郎(JICA 北海道(帯広)代表)／工藤尚悟(国際教養大学准教授)
7	10月22日	生産者と消費者の連帯	吉田敏彦(「さいさいきて屋」直販課課長)

コメンテータ: 古沢広祐(国際開発学会社会的連帯経済研究部会代表)

多賀俊二(草の根金融研究所「くさのーね」代表、中小企業診断士)

モデレーター: 佐藤寛(アジア経済研究所・上席主任調査研究員、ソリダリダード・ジャパン共同代表理事)

## ● ウェビナー 「ビジネスと人権」への取り組み ～「人権」をビジネスチャンスに

開催日:2022年9月28日

協力:駐日オランダ王国大使館

プログラム	テーマ	講師
講演	教育から立法へ:責任ある企業行動(RBC)への新たな推進力	フィレス・フットハルト(オランダ外務省 経済ガバナンス・通商政策局義務デューデリジェンス・コーディネーター)
	トニーズの人権への取り組みとビジネス	エンゾ・ファン ザンテン (トニーズ・チョコロンリー キーノート・ヒーロー)
	エシカル消費の取組について	山根雄気(消費者庁 消費者教育推進課 係長)
パネルディスカッション	ビジネスと人権:日本の最新動向と不二製油 G の取り組み	河口真理子(不二製油グループ本社株) CEO 補佐 / 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 特任教授)
	ビジネスと人権:取り組みの変化と今後期待されること	佐藤有希子 (認定 NPO 法人 ACE ソーシャルビジネス推進事業チーフ)
	カカオの農園・農家の課題とソリダリダードのソリューションについて	ハモンド・メンサ (国際 NGO ソリダリダード 西アフリカ・カカオプログラム担当)

モデレーター:佐藤 寛 (アジア経済研究所 上席主任調査研究員 / ソリダリダード・ジャパン 共同代表)



## コラムのウェブサイト掲載

回		タイトル	執筆者
1	21年	コーヒーの持続可能性について考える(1)	橘 欣子
2		コーヒーの持続可能性について考える(2)	橘 欣子
3		インドにおける農業機械市場の概要を掴む(1)	朝倉 隆道
4		コーヒーの持続可能性について考える(3)	橘 欣子
5		インドにおける農業機械市場の概要を掴む(2)	朝倉 隆道
6		コーヒーの持続可能性について考える(4)	橘 欣子
7	22年	パーム油のサステナビリティを考える	楊 殿閣
8		新しい経済理論が必要だ、とコヌス氏は言った。	高須 直子
9		「社会的連帯経済」の定義が確定される？	高須 直子
10		フェアトレード(1)	楊 殿閣
11		フェアトレード(1)	楊 殿閣
12		フェアトレード(3)	楊 殿閣
13		チョコレートを持続可能性について考える(1)	橘 欣子

## ポットキャストによる発信

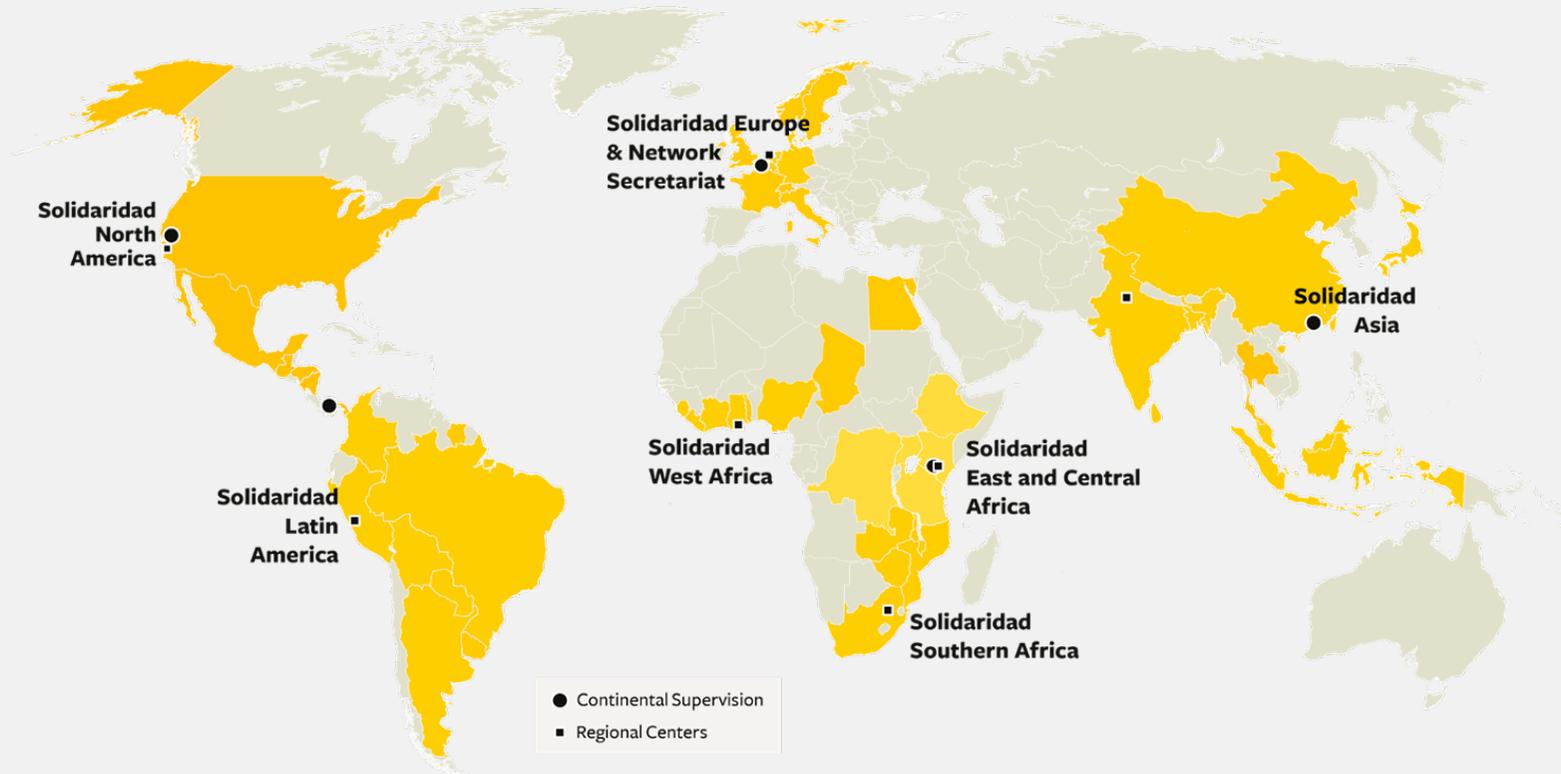
回		テーマ	講師
1	21年	社会的連帯経済シリーズ Episode 1 連帯経済とは	佐藤 寛
2		同 Episode 2 フェアトレードとその課題	渡辺 龍也
3		同 Episode 3 連帯経済の多義性とSDGsとの関わり	古沢 宏祐
4		同 Episode 4 日本の報徳思想	池上 甲一
5		同 Episode 5 ラテンアメリカの連帯経済	幡谷 則子
6		同 Episode 6 グローバル・タックス、ベーシックインカム	上村 雄彦
7	22年	同 Episode 7 スペインと日本の事例	廣田 裕之
8		同 Episode 8 社会的連帯経済の歴史的展開	中野 佳裕
9		再生可能なエネルギー	井上 惟人
10		同 Episode 9 互酬性の経済	北島 健一
11		同 Episode 10 国際開発と連帯経済	斎藤 文彦

URL: <https://www.solidaridadnetwork.or.jp/>

## 団体情報

団体名	一般社団法人 Solidaridad Japan
設立	2020年8月13日
所在地	東京都練馬区関町南4丁目23番地14号
URL	<a href="https://www.solidaridadnetwork.or.jp/">https://www.solidaridadnetwork.or.jp/</a>
役員	理事: 佐藤 寛 シャタドル・チャットパダヤイ
スタッフ	事務局長: 楊殿 閣
パートナー団体	一般社団法人持続可能なサプライチェーン研究所
事務局連絡先	japan-info@solidaridadnetwork.org

**Solidaridad**



# CHANGE

# THAT MATTERS